

52

学習

# 走れメロス

学習のねらい

- ① 会話から人物の性格や考え方を読み取る。
- ② 描写に注目して人物の心情の変化を捉える。

確認

## 文章の流れをつかもう

「走れメロス」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

確認

## 主題をつかもう

次のあらすじを読んで、作品の主題としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えましょう。

町で王の暴虐を知ったメロスは、激怒して城に行く。王に処刑されそうになるが、友人のセリヌンティウスを身代わりにし、三日の猶予をもらい村に引き返す。刑場に戻る途中の困難を乗り越えるが疲労し、友を裏切っても仕方がないという迷いが生じ眠ってしまう。まどろみから覚めたメロスは、死力を尽くして走り約束どおり刑場に到着し、友は解放される。王は二人の姿を見て、「信実は妄想ではなかった」と認める。

- ア 権力に立ち向かう勇氣と屈しない強さ。
- イ 人を信じることの難しさと尊さ。
- ウ 友情を育むために必要な忍耐と努力。

シラクスの町で国王の暴虐ぶりを聞くメロス

- ・メロスは①した。

怒りに任せて王城に乗り込むメロス

- ・たちまち警吏に捕縛されたメロスの懐中から短剣が見つかる。
- ・メロスは処刑される覚悟だったが、妹の結婚式のために三日間の猶予を求め、親友セリヌンティウスを②に差し出す。

故郷の村に戻ったメロス……一日目の午前

- ・翌日、急いで妹に結婚式を挙げさせる。……二日目

刑場に戻ろうとするメロス……三日目の早朝

- ・濁流を泳ぎ切ったメロスを③が襲い、メロスの行く手を遮る。
- ・疲れ果てたメロスは約束などどうでもよいという気持ちになる。
- ・目を覚ましたメロスは④を守るために疾風のように走る。

刑場に着いたメロス……三日目の夕暮れ

- ・メロスは刑場に駆け込み、友が解放される。

- ・王は「信実とは、決して空虚な妄想ではなかった」と⑤する。

- ア 改心
- イ 名誉
- ウ 人質
- エ 山賊
- オ 激怒

## 参考資料

【作者紹介】

大宰治（だいさいおさむ）  
 太宰治：一九〇九年（明治四二年）～一九八四年（昭和五三年） 青森県出身。

小説家。代表作には、物語的作品の「新釈諸国噺」「お伽草紙」や自伝的作品の「富嶽百景」「人間失格」などがある。

## 漢字の読み書き

次の——線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。

- |                  |                  |               |
|------------------|------------------|---------------|
| □ (1) 美しい花婿      | □ (2) 祝宴を開く      | □ (3) 人質になる   |
| □ (4) 命乞いをする     | □ (5) 一睡もできない    | □ (6) 到着時間    |
| □ (7) 承諾する       | □ (8) 生涯の友       | □ (9) 泉が湧く    |
| □ (10) 荒れ狂う      | □ (11) 山賊と戦う     | □ (12) 緑色の芋虫  |
| □ (13) 卑劣な行い     | □ (14) 醜い怪物      | □ (15) 裸体をさらす |
| □ (16) 不正にゲキドする  | □ (17) イシヨウを新調する |               |
| □ (18) 肩をユする     | □ (19) ハデなドレス    |               |
| □ (20) ココロガマエを説く | □ (21) カクゴを決める   |               |
| □ (22) 日がノボる     | □ (23) 布で籠をオオう   |               |
| □ (24) セマイ部屋     | □ (25) 虫がハねる     |               |
| □ (26) ヒタイの汗を拭く  | □ (27) 金品をウバう    |               |
| □ (28) ギワクが残る    | □ (29) 胸が張りサける   |               |
| □ (30) グンシユウに紛れる |                  |               |

## 重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。

④		③		②		①	
空虚		無心		未練		無二	
例文	意味	例文	意味	例文	意味	例文	意味
楽しみもなく空虚な生活を送る。		試験が近いので無心で勉強する。		友人に会えずに帰ることになり未練が残る。		彼と僕は無二の親友だ。	

問題 次の各文の空欄にあてはまる言葉を、「重要な語句」の中から選び、書き

なさい。

- (1) 弟は一日中□で絵を描いている。
- (2) 彼は世界で□の画家だ。
- (3) □な理論を聞いていても意味がない。
- (4) 終わってしまったことに□はない。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

「走れメロス」は、王が王ディオニスのことを呼んだ他の言葉で書き抜きなさい。

20

15

10

5

□(1) ——線①「王」とありますが、メロスが王ディオニスのことを呼んだ他の言葉を文章中から二字で書き抜きなさい。

□(2) ——線②「メロスは単純な男であった」とありますが、これはメロスのどんな行動を指していったものですか。その行動を書きなさい。

□(3) ——線③「孤独の心」になったのは、王がどのように考えるようになったからですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

□(4) ——線④「人のほらわたの奥底」とありますが、王は、そこに何があると考えていますか。文章中から二字で書き抜きなさい。

## 読解のコツ

◎会話から人物の心情や考え方を読み取る

会話や独白（心の中の声）の内容や話し方には、人物の心情が反映します。内容、口調、言葉遣い、間の取り方などに着目して推測してみましょう。

↓学習のねらい①

「おまえがか？」王は憫笑した。「しかたのないやつじゃ。おまえなどには、わしの孤独の心がわからぬ。」（本文12行目～13行目）

「おまえがか？」には、「おまえにはわからない」という否定的な意味が込められ、心を閉ざしていることがわかります。「わしの孤独の心がわからぬ」という断定的な言い方から、王の孤独の深さをうかがうことができます。

（太宰治「走れメロス」より）

25

30

35

□(5) — 線⑤「王は利口だ。うぬぼれているがよい」という言葉に表されているメロスの心情として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 王が民のことを深く考えていたことに対して感服する気持ち。

イ 王が自分の本心を見ていないことに対して皮肉る気持ち。

ウ 自分とは身分が違う王に対して、畏れ敬う気持ち。

エ 自分の私欲を見抜かれたことに対して驚く気持ち。

□(6) — 線⑥「逃がした小鳥」がたえているものを、文章中から探し書き抜きなさい。

□(7) — 線⑦「あれを人質としてここに置いていこう」の解釈として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 同意を得ないで友人を人質に立てるといふ、メロスの身勝手さだけが表された言葉である。

イ 本当は友達だとは思っていないので、殺されてしまえばよいといふメロスの考えが表れたものである。

ウ 三日のうちには必ず帰ってくるという、メロスの絶対的な自信が表された言葉である。

エ 窮地に陥ったメロスが、命惜しさに苦しまぎれに言った、言い逃れの言葉である。

□(7) — 線⑦「あれを人質としてここに置いていこう」の解釈として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 同意を得ないで友人を人質に立てるといふ、メロスの身勝手さだけが表された言葉である。

1 次の文の空欄に当てはまる言葉をあとから選び、答えなさい。

2点×10 20点

□(1) 国王の暴虐ぶりを  ① メロスは激怒して王城に乗り込み、処刑される

ことになる。しかし、メロスは妹の結婚式のために三日間の猶予をもらい、代わりに親友を人質として差し出した。

刑場に戻る道中、メロスは、濁流や山賊に行く手を  ② 。疲れ果てた

メロスは、一時は自暴自棄に  ③ ものひたすら走り、刑場に駆け込む。

無事、友は解放され、互いに抱いた不実を詫び、  ④ 。この二人の姿を

見た王は、信実が空虚な妄想でないことを認め、  ⑤ のだった。

ア 改心した      イ 阻まれた      ウ 耳にした

エ 陥った      オ 抱擁し合った

□(2) 人を信じるということは、尊いけれども難しいものです。  ① がゆえ

に暴虐をはたらく王の前に、メロスとセリヌンティウスは、互いへの

② を失いかげながらも  ③ を貫きます。そんな二人の姿に王も感

化され、「  ④ 」の存在を認めます。「走れメロス」は、登場人物の

⑤ の変化が、明快な断定の文末表現や漢語と俗語の混交といった起伏

のある文体で鮮やかに描かれています。

ア 心情    イ 信頼    ウ 信実    エ 友情    オ 孤独

2 次の——線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

□(1) 官吏の登用      □(2) 深紅に染まる      □(3) 貴族のような風体

□(4) 邪魔をする      □(5) 指示を仰ぐ      □(6) 仏壇に花を供える

□(7) 恩にムクいる      □(8) 気力がナえる      □(9) 川がハンランする

□(10) 戸のスキマ      □(11) 味をトトノえる      □(12) 敵をアザムく

3 次の言葉の対義語を書きなさい。

3点×2 6点

□(1) 正当      ↑↓     

□(2) 陽気      ↑↓

4 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

50点

(太宰治「走れメロス」より)

25 20 15 10 5

□ (1) 「友を裏切り、自分は助かろうと思った」ことを、メロスはどんな言葉で表現していますか。文章中から探し、六字で書き抜きなさい。 10点

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

□ (2) ——線①「セリヌンティウスは、全てを察した様子でうなずき」とありますが、ここに描かれていることとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 10点

- ア メロスの強引さ。
- イ セリヌンティウスの賢さ。
- ウ 二人の友情の深さ。
- エ 二人の駆け引きのうまさ。

□

□ (3) ——線②「暴君」と呼ばれたディオニスに、人間らしい心が戻ってきた様子を表している部分を文章中から探し、六字で書き抜きなさい。 10点

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

□ (4) ——線③「わしの心」とありますが、どんな考えをもった心ですか。文中の言葉を使って書きなさい。 10点

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

走れメロス(1)

実施日

/	/	/
---	---	---

得点

/	/	/
50点	50点	50点

理解度

☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
-----	-----	-----

1 次の文の空欄にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

〈3点×4＝12点〉

「走れメロス」の作者は、青森県出身の小説家 (1) である。代表作の一つに、自伝的作 (2) がある。

・「走れメロス」は、(3) や友情を信じ、貫くことの難しさと尊さを主題としている。メロスとセリヌンティウスは、一時、心が揺らぎながらも信頼と友情を貫きとおし、孤独で残虐な王が、二人の友情に感化されて人間らしい (4) を取り戻す様子が描かれている。

- ア ヴィヨンの妻    イ 命    ウ 夏目漱石  
 オ 心    カ 太宰治    キ 名誉    ク 人間失格

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

2 次の——線の言い換えとして正しいものをあとから選び、記号で答えなさい。

〈3点×6＝18点〉

- (1) 先輩からちよつといい話をちらつと聞く。  
 (2) 舞台上でアクシデントが起き、観客席が騒がしくなる。  
 (3) 身に覚えのない非難を浴び、怒って興奮する。  
 (4) 作戦がうまくいって大金を得たので、満足してひそかに笑う。  
 (5) 箱を開けたら小判がざくざく出てきて非常に驚く。  
 (6) 人目を気にすることなく自由に生きたい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
-----	-----	-----	-----	-----	-----

3 次の漢字はひらがなで、かたかなは漢字で書いて答えなさい。

〈2点×10＝20点〉

- (1) 残虐な行為は許さない。  
 (2) 再開した友人と抱擁し合う。  
 (3) 被害妄想に悩まされる。  
 (4) 強く壁を蹴る。  
 (5) 路傍に咲く一輪の花。  
 (6) 母がやさしく頭をなでてくれた。  
 (7) ポウクンの圧政に苦しむ。  
 (8) コブシを強く握りしめる。  
 (9) ムし暑くて寝苦しい。  
 (10) 裏切った友達をウラむ。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
(む)							
(し暑く)							

◇ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

（太宰 治「走れメロス」より）

15 10 5

実施日		
/	/	/
得点		
/50点	/50点	/50点
理解度		
☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆

- (1) 線①「暴君」とは誰のことですか。文章中から探し書き抜きなさい。
- (2) 線②「約束」の内容として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア メロスが友人を身代わりにさしだすこと      イ メロスが三日間の時間をもらうこと
- ウ メロスが村に戻り、三日以内に帰ってくる      エ メロスが妹を助けに行くこと
- (3) 線③「そっとほくそ笑んだ」王が自分の気持ちを述べている部分を文章中から探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。（句読点も字数に数えます。）
- (4) 線④「ちょっと遅れて来るがいい」と言ったときの王の感情として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 同情      イ 恐れ      ウ 感動      エ 軽蔑
- (5) 線⑤「おまえの心は、わかっているぞ」と王は言っていますが、このとき、王はメロスがどうするだろうと思っていますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 約束の時間までに必ず帰ってくる。      イ わざと約束の時間に遅れてくる。
- ウ 王に命乞いをする。      エ 自分がはりつけの刑になる。

(4)	(3)	(1)
		(2)
(5)		

(3) (完答) 10点×5